

日本生活学会
学会事務外部委託についてのお知らせ

2015年3月30日
会長 秋野晃司
理事会・総務委員会

日増しに暖かくなり、みなさまにはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

多くの会員のみなさまには、突然のお知らせとなり誠に恐縮ですが、本状は学会事務局機能と会員サービスに関する重要なお知らせになります。最後までお目通しくくださいますようお願い申し上げます。

【学会事務局機能の外部委託について】

理由と経緯につきましては後記いたしますが、昨年5月の新理事会発足以降、約1年にわたり検討を重ねた結果、従来の事務局体制は2015年3月末日をもって終了し、4月1日より会員管理や受付・庶務業務および学会誌編集・印刷・発送業務等を、以下に委託することとなりました。会員のみなさまには、どうか現理事会の判断をご承諾くださり、今後の事務局運営にご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

(株) 国際文献社

- ・所在地および事務局郵送先

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター(委託時の宛先)

- ・日本生活学会事務局連絡先 電話：03-5389-6237

FAX：03-3368-2822

メールアドレス：lifology@bunken.co.jp

- ・国際文献社業務内容 URL (ご参考) <http://www.bunken.co.jp/outline/>
- ・事務局支援実績 日本医学物理学会、日本医療社会学会、日本家族社会学会、日本社会心理学会、日本社会福祉学会、日本政治学会、日本精神保健看護学会、日本哺乳類学会、環境科学会、関東社会学会など 70 以上の日本学術会議協力学術研究団体を含む 100 以上の学会。

また、4月からの新事務局体制への移行に伴い、以下のような変更が生じます。

- ・事務局連絡先・所在地および受付窓口は、上記アカデミーセンターとなります。
- ・会員管理・会費徴収等については、アカデミーセンター取り扱いとなります。また、

会費振込用紙や学会からのお知らせのフォームが変わります。

- ・会員各位へ発行される ID とパスワードを利用することにより、オンライン上に開設された「会員マイページ」にて、各自の登録情報（連絡先・会費納入状況・学会誌発送状況）の確認や、登録情報（連絡先）の変更が簡単にできるなど、新しいサービスが提供されます。
- ・各学会賞のエントリー先は、上記アカデミーセンターになります。
- ・学会誌への投稿および編集作業に関する送付先・連絡先は、後日お知らせする別途の住所・連絡先になります（国際文献社・高田馬場ビル宛になる予定です）。
- ・その他、理事選挙の方法や会則の一部などについて、順次に変更・改正が生じる可能性があります。

より具体的な変更点および委託先からのご案内については、あらためて 4 月早々に書面にてみなさまへお知らせいたしますが、基本的な会員サービスの内容については従来と大きく変わるものではありません。また、会員のみなさまには、特に新しい手続きが必要となることもございません。当面の移行期におきましては、「会員マイページ」の利用に慣れていただくなど、一時的にご不便をおかけすることもあるかと存じますが、その点はどうぞご寛恕ください。

【事務局機能外部委託化の理由と経緯について】

昨年の第 41 回総会と同日に開催された 2014 年度第 1 回理事会において、小林多寿子前会長より事務局の体制整備と業務のあり方の再検討が急務であることが報告されました。おもな理由は以下によります。

- ・従来のように継続的かつ安定性の高い事務局スタッフの雇用が、人材確保および学会経費上の事情から困難になってきたこと。
- ・早稲田大学西早稲田キャンパス内に設置してきた事務局スペースが、諸般の事情から確保できなくなる見込みであること。

この報告を受け、秋野晃司新会長のもと、新理事会において事務局のあり方を協議することになりました。この間、すでに事務局をいったん退かれていた後藤さん、國寶さん、また小林先生よりご紹介いただいた小野寺さんに無理なお願いをしつつ急場をしのぎながら、約 10 ヶ月をかけて慎重に他学会の状況調査を含む議論を重ねてまいりました。結論として、これまで学会独自に維持運営してきた事務局業務の多くを外部に委託せざるを得ないという判断に至り、現事務局に変わる新体制の準備を進めてまいりました。

外部委託決定に至る検討内容の主要な点につきましては、

- ・学会独自の事務局業務体制を、今後も維持運営できるか。
- ・委託する際、個人情報を取扱う会員管理において、十分なセキュリティ機能があるか。

- ・委託する際、会費など学会経費に関する業務等において、十分な信頼性があるか。
- ・委託する際、受付・庶務業務において、従来の事務局機能をどれだけ維持できるか。
- ・委託する際、主要な学会事業である学会誌発行、総会・研究大会開催、学会情報発信、学会賞授与等において、会員サービスが低下しないか。また、理事会・関連諸委員会の業務が円滑に運営できるか。
- ・委託する際、外部委託費用と従来の事務局人件費等のバランスシートがとれるか。

などになります。これらの検討に合わせ、学会事務代行に定評のある数社（団体）を選定して業務内容や学会支援実績を比較し、また総務委員・現事務局による委託候補先の視察を行った結果、2社に見積を依頼しました。2社から提出された業務案内資料および見積をもとに、さらに理事会で業務の実際について担当者への数回にわたるヒアリングを行った結果、日本生活学会の新しい事務体制にふさわしい委託先として、上記の国際文献社を決定いたしました。より詳細な検討内容につきましては、次回5月の総会において理事会より報告し、また必要に応じてみなさまからの質疑を受けたく存じます。

なお、事務業務の外部委託化に伴い、次回総会において、外部委託後の学会事業の安定と会員サービス向上に対応するための会則改正案を理事会よりお示しします。また、近日中に学会HPもリニューアルし、一層の情報提供や各種サービスの充実を図っていく予定でおりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

以 上